

しろくま通信



春はお彼岸（ひがん）です。秋にもありますね。太陽が真西に沈む「春分の日」と「秋分の日」。この日を「彼岸の中日」（ちゅうにち）として、前後 3 日を含んだ 7 日間を彼岸会（ひがんえ）と呼びます。きっとインドの大陸に沈む夕焼けがとてもきれいで、遙か西の彼方に美しい西方浄土があると考えたのでしょう。

さて、彼岸とはどういう意味でしょうか。「彼岸」という言葉は、インドの古語であるサンスクリット語の「パーラム」から来ています。煩惱（ぼんのう）の火が消えた涅槃（ねはん）の世界のことで、向こう岸「彼岸」にあると言われていています。

煩惱は 108 あると言われますが、トップの 3 つを毒にたとえて三毒といます。「貪りの心」「怒りの心」「愚痴の心」がそうで、仏教では「怒り」を「瞋り」の字で書きあらわし、「貪瞋痴（とんじんち）の三毒」と呼んでいます。一番は「貪り」の（とん）でしょうか。お金がほしい、地位がほしい、ひとに好かれたい、成功したいと自分のうつわ以上のことをしてもなかなか手に入るものではありません。すると自暴自棄になって怒りがわいてくる。これが「瞋」（じん）いかりです。怒って正常な判断ができなくなって愚かなことをしてしまう。これが「痴」（ち）すなわち愚かです。

2018 年は、
春の彼岸: 3 月 18 日 ~ 24 日
秋の彼岸: 9 月 20 日 ~ 26 日

彼岸

此岸



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

